



第4コーナーを回りゴールを目指す
阿部智大選手(男子 500 m)

早来中の生徒

スピードスケート男子総合優勝(大会3連覇)
スピードスケート女子総合準優勝、
アイスホッケー混成チーム準優勝。

2月3日に苫小牧市で第27回全国中学校スケート・アイスホッケー大会が開催され、早来中学校からスピードスケート競技に8名、アイスホッケー競技に2名が出場しました。

スピードスケート学校対抗では男子が3年連続の総合優勝、女子は準優勝でした。

また、苫小牧啓明・弥生・安平早来の混成チームが決勝戦で釧路青陵中に2対3で惜敗し準優勝になりました。

輝かしい成績を収めた早来中の生徒たちは、2月13日に役場を訪れ町長に大会の報告を行ないました。



アイスホッケーで準優勝した猪師悠生選手(写真右)と阿部勉選手



中村コーチの声を受けながら滑走



「早来中から世界にはばたく選手の誕生を願っています」と審判員として子供たちを見守る大野順一さん(安平町スケート連盟会長)



優勝杯を受ける中村駿佑主将

豊富な練習量のたまもの

国体10連勝の実績を持つスピードスケート500mの千葉浩次さん(苫小牧東高定時制教頭)は、「早来中の男子全国3連覇は当然の結果です。豊富な練習量と小学校からの適切な指導そして地域の支援が栄冠に結びついた」と分析し、「単発的に優れた選手は出てくることはあるが、総合力では現在 中学校ナンバーワンですね」とコメントをいただきました。



快挙をお祝いして

早来中学校の全国スピードスケート男子三連覇、女子準優勝、またアイスホッケー混成チームの準優勝にも貢献されたとのこと



早来中学校の皆さんには、これから友情を深め、切磋琢磨して、大きく高く飛躍されることをお祈りしています。

と、誠にありがとうございます。母校の皆さんの活躍を聞いて、とても嬉しく思います。

スポーツの基本は「礼儀」「謙虚さ」。「最後まで努力すること」です。私はスケート

早来中学校卒業生、日本スケート連盟会長、参議院議員、橋本聖子